

第3期まちづくり市民会議（第6回）議事録

■日 時	2013年9月26日（木） 午後7時～午後9時
■場 所	太田市役所 10階 政策推進会議室
■出席者	委 員 福島会長、石倉副会長、青木委員、川原委員、瀬下委員、 中本委員 事務局 高橋課長、前原係長、富岡係長代理

【目 的】

- ・前回までの議論の確認及び今後の提言書作成に向けての検討テーマについて各委員において共通認識を持つ。

【会議概要】

1. 協議事項

(1) これまでの議論の確認について

■ 第5回会議における協議結果について確認を行った。

- ・太田市まちづくり基本条例の変更については、大きな変更の必要性は認められない。
- ・今後の方向性は、次の2項目の提言について検討する。
 - ① 「安全・安心して暮らせるまちづくり」コンパクトなまちづくりを目指して
 - ② 財政の改革「次の世代に大きな負担を残さない、財政健全化と財務状況を的確に市民と共有する」市民とともに痛みを共有する改革提言

(2) 今後の検討課題の確認について

■ 行政施策の確認とフォロー

○ 大規模災害の備え(いざとした時の自分の避難場所は?)各行政区単位での避難場所の明確化

- ・自分の避難場所が分からない。市では太田市防災マップや太田市民のための危機管理行動マニュアルを策定し避難場所等を示しているが、市民の目に届いていない。
- ・地区ごとに避難場所は定められているが、行政区ごとには決められていないことから、行政区単位ではどのように対応すべきか市と区長会とで協議の場を設ける必要がある。

■ 第1期まちづくり市民会議の提言内容のフォロー

○ 議会基本条例制定に向けて

- ・議会基本条例制定までのスケジュールについては、議会改革調査特別委員会において、現在の議員の任期中に議会基本条例の制定を目指すこととしている。
- ・平成25年2月13日に当該委員会の活動内容・検討結果が報告されているが、今後の会議の進め方についての確認として、委員会における決定事項の実施にあたっては、「委員会での全会一致を基本、会派代表者会議、議会運営委員会、全員協議会での承認を必要とする」となっている。未だ全議員の賛同が得られていないようであるので、我々で後押ししていかなければと考えている。
- ・議員に議会基本条例の制定についてアンケートを取るのも良いのではないか。
- ・現在進行中の特別委員会であるので、こちらから意見を出すのはいかながなものか。また、アンケート実施した場合には結論が出ないものでは意味がない。結論を見なければならぬ。
- ・まちづくり基本条例の啓蒙として市民、区長会及び市議会に対してアンケートを取ることも必要である。また、アンケート結果についてはまとめて公開するのが良い。
- ・提言については、「制定してくれ」より、進めているものに対しての後押しが良い。年内に特別委員に対してアンケートを行いたい。アンケート内容については、正副会長において素案を作成したい。その後、市民会議に示したい。

■ 提言書作成に向けての検討テーマ

○ 都市計画マスタープランの見直しと、暮らしやすいコンパクトなまちづくりの実現

- ・中心市街地の空洞化が各地で顕著に見られるようになった。これは本市も例に漏れず中心市街地の空洞化は大きな課題である。
- ・一つは、郊外への大規模住宅団地の造成が挙げられる。しかし、現在ではそこが高齢化している。
- ・コンパクトなまちとは、歩いて暮らせるまちのことではないかと考える。
- ・太田地区には商店がなくなってしまった。商売をやっていた人に聞くと、消費者が便利を取って郊外のスーパーを選んだ結果、地元の商店が衰退し逆に不便になったということである。元に戻すことは難しいが、魚屋があり八百屋があるまちにするのが理想である。
- ・地域で地元の店舗を積極的に利用するべきである。多少高くても利用するといった意識を持つことも大切である。
- ・太田市の人口は微増であり全体で見ると良いまちであるが、個別の地区を見ていくと人口のバランスが悪い地区がある。
- ・空き地、空き家の活用が大事である。そう言ったところに若い人たちが安い値で入れるような策が必要である。高齢者だけでは街は活性化しない。
- ・空き家を改修して、若者が入ってきている例もあり、若者が徐々に入ることで、街に変化が生まれるのではないか。
- ・前橋市ではシャッター通りとなったところを学生に安く貸すことで賑わいをつくろうとしている。

- ・各自治体がもがきながらまちの活性化について考えている。太田市ではその意識がまだまだ高くない。
- ・地区内に商店がなくなった地区では、移動手段のない一人暮らしの高齢者は大変である。おうかがい市バスを運行しているが根本的な対策ではない。街のあべき姿を見てまちづくりを行ってもらいたい。
- ・従来のやり方ではだめである。民間との連携により地域に出ていく施策を考えなくてはいけない。

○ 次世代に大きな負担を残さない財政改革 補助金などの内容公開と定期的な見直し検討の実現

- ・受益者負担を考えていくことが必要である。利用者は全体の一部であることから、受益者に負担してもらうことは必要である。
- ・次世代への負担を考え、痛みを共有する意識が必要である。

※上記2案件については、次回会議から提言書としてまとめていきたい。

※今回議論できなかった「町内会と区長会運営の改革提言」についてのフォロー検討について次回の会議で検討する。

■ 次回会議

第7回まちづくり市民会議

【日時】10月17日（木）午後7時～

【場所】太田市役所10階 政策推進会議室